

沖縄県にお住まいのみなさまへ

お近くの  
医療機関  
で

# 風しん抗体検査が

## 無料で受けられます!!



妊娠中(特に妊娠20週頃まで)の女性が風しんに感染すると生まれてくる赤ちゃんに難聴などの障がいが出るおそれがあります。

そのため、妊娠・出産を考えている女性又はそのご家族は、事前の風しん予防が大切です。

沖縄県在住で、次のいずれかに該当する方

- ①妊娠を希望する女性
  - ②妊娠を希望する女性の配偶者や同居者など
  - ③風しんの抗体価が低い妊婦の配偶者や同居者など
- ※ただし、**S37/4/2～S54/4/1生まれの男性** または、**過去に風しん抗体検査を受けた結果、十分な抗体がある**ことが確認できる方は除きます。

### 【対象者】

### 【期間】

令和元年12月～令和2年3月21日(土)

### 【料金】

無料

### 【検査】

血液検査による抗体検査

### 【実施場所】

県内実施医療機関 (リストは県・市保健所ホームページに掲載)

### 【予防接種】

検査の結果、予防接種が必要と判断された場合は、**検査を受けた医療機関**にお問い合わせ下さい。  
なお、予防接種にかかる費用は「**有料**」になります。

《 お問い合わせ 》

那覇市にお住まいの方は 【 那覇市保健総務課 ☎:098-853-7971 】

那覇市以外にお住まいの方は 【 沖縄県地域保健課 ☎:098-866-2215 】

那覇市保健所 令和元年度風しん抗体検査

検索





Q

予防接種一回受けたから大丈夫？

A

生涯で2回接種したほうがいいとされています。

予防接種を受けた方のほとんどが風しん免疫を獲得します。しかし、1回の接種では免疫が付きにくい方が約5%おられます。また、1回の接種で抗体がついた方でも、10年ほどで抗体が低下し、風しんにかかってしまう例がみられます。これらの方でも2回目の接種を受けることで免疫を獲得できる場合がほとんどです。生涯のうち、2回接種することが大事です。

Q

子供の頃に風しんにかかった記憶があります。  
だから風しんへの免疫があるから大丈夫ですよね？

A

ぜひ、この免疫力を調べる検査（抗体検査）を受けましょう。

記憶違いや風しんに似た病気だった可能性があります。現在の状態を知るために、ぜひ免疫の有無を調べる検査を受けることをご検討ください。

また既に抗体がある方が予防接種を受けても問題ないことから、検査をせずに予防接種を受けることも可能です。

Q

予防接種を受けるうえでの注意点は？

A

妊娠中は接種できません。

風しんワクチンは、妊娠中の女性は接種できません。妊娠中の女性が風しんワクチンを接種したために赤ちゃんに障がいが出たという報告はありませんが、**接種後は2ヶ月間の避妊が必要**です。

風しんワクチン接種後に妊娠が判明した場合、妊娠中断の必要はないと考えられていますが、念のためかかりつけの産婦人科にご相談ください。

なお、男性のワクチン接種による赤ちゃんへの影響は心配ありません。

Q

昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性は、  
風しん抗体検査を受けられないの？

A

この年代の方はお住まいの市町村より抗体検査と予防接種のクーポンが発行されます。

市町村から発行されるクーポンを提示すれば、医療機関で無料で検査を受けることができます。抗体検査の結果、予防接種が必要と判断されれば、無料で予防接種を受けられます。詳細はお住まいの市町村にお問い合わせください。